

12月定例会 ことなこ

令和3年度 一般会計補正予算（4号、5号）を可決
7億1,163万円の増額 総額105億1,808万円に

注目補正事業をピックアップ

廃棄物中間処理・最終処分手業 387万円増額

ごみ処理量の増加に伴う中間処理等業務委託料の増



Q. ごみが増えた理由は。
A. コロナ禍で外食が減り、廃プラなどが増えた事が原因だと考えられる。

町道局部改良事業 690万円増額

町道昭和線の狭い区間を拡幅改良するための工事費等を計上



▲町道昭和線（通行時の状況）

Q. 位置はどの辺りか。
A. 出来庭一丁目付近の狭い部の拡幅改良を考えている。

災害予防及び応急対策事業 213万円増額

西・東防災交流センターへの避難所誘導看板作成等



▲【イメージ】熊野東防災交流センター

Q. 避難所の入り口がわかりにくい（目立ちにくい）が看板の設置は。
A. センター南側の県道に看板を設置するように準備を進めている。今年度中の完成を目指している。

子育て世帯への臨時特別給付金事業 1億8,615万円（新規）

コロナ禍により苦しんでいる子育て世帯を支援するため1人あたり10万円給付



Q. クーポン券をやめ、現金10万円にした理由は。
A. 子育て世帯対象事業で町内では限られた物しか購入できないため、幅広い対応ができるようにした。

（各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています）

が決まりました！

報告1件・議案14件の中から5件をピックアップ

「熊野町国民健康保険条例の一部を改正する条例」を可決

産科医療補償制度の見直しにより、当該制度の掛け金が1万6千円から1万2千円に4千円引き下げられるが、少子化対策の重要性を鑑み、出産育児一時金は支給額を4千円引き上げて支給総額の42万円を維持する。



「熊野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」を可決

子育て世帯の経済的負担軽減の観点から未就学児に関わる均等割り額についてその5割を公費により軽減する。例えば、今まで7割軽減の世帯では残りの3割を自己負担していたが、3割の半分1.5割プラスされて8.5割軽減になる。



「熊野町施設の指定管理者の指定」を可決

次の施設の指定管理者を指定した。

- ①くまの・みらい保育園
指定管理者 社会福祉法人微妙福祉会
指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
- ②熊野西ふれあい館
指定管理者 一般社団法人熊野町シルバー人材センター
指定期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）
- ③熊野町地域福祉会館
指定管理者 社会福祉法人熊野町社会福祉協議会
指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
- ④熊野町環境事務所
指定管理者 一般社団法人熊野町シルバー人材センター
指定期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）



▲くまの・みらい保育園



▲熊野町環境事務所

「熊野町指定金融機関の指定」を可決

広島県信用組合を令和4年度以降の熊野町指定金融機関に指定した。広島県信用組合と安芸農業協同組合が交代制で業務を行っていたが、長引く低金利の影響等により無償での受託が困難となり両者から提示された負担金額等を比較した結果による。